

# 女子中高生のための 第2回 グローバル講演会 ーサイエンスから世界へー

日本だけでなく、世界に目を向けてみます。教育制度は世界共通ではありません。海外での学びの事情を知ることで、小さな端末の画面から広い世界を体感してみましょう。その中には、皆さんの将来を考えるヒントが隠されているかもしれません。さらに、理系の研究者がどのようにして世界に通用する研究を行っているのか、百戦錬磨の研究を繰り返している舞台裏を紹介します。

モデレーター

佐藤敦子

お茶の水女子大学 理学部 生物学科 准教授



University of Oxford,  
Department of Zoology and  
Merton college  
にて、2004年から2008年まで  
留学し、半索動物の研究を行う。  
その後、Marine Biological  
Association of the UKで  
Ray Lankester Investigator  
として、異なった温度に適應した  
ホヤを題材に適應進化についての  
研究をはじめ、現在も、英国、フ  
ランス、イタリア等と国際共同研  
究を展開中。



ドイツで9年近く研究をしながら4人の子どもを育ててみた

中野 亮平 トーマス

マックスプランク植物育種学研究所 植物微生物相互作用部門 独立研究員

2013年に研究のためドイツへやってきました。現地校に通う4人の子どもの世話と仕事の両立に四苦八苦しています。世界中から集まった同僚と一緒に研究をすること、ドイツで子どもを育てること、そんな日常を紹介しながら「世界の広さと狭さ」をお伝えします。



身近な国から考えるグローバルな世界

崔 勝媛 (チェ スンウォン)

日本たばこ産業株式会社 たばこ中央研究所 研究員

日本にもっとも近い国、韓国。6年、3年、3年の初等中等教育を得て大学を目指す教育制度は、韓国も日本も違いはありません。そんな中、今の韓国の20-30代の人たちはどんな特徴を持つのか。韓国で教育を受け、日本で研究員生活を送っている立場からご紹介します。

日時：2021年12月19日（日）14時～16時（講演・質疑応答）

※オンライン（Zoom）にて開催

対象：女子中学生・高校生、保護者、教員

主催：お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構

申込み・問い合わせ先

申込フォーム <https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/stem/20211219>  
から、12/16（木）までにお申し込みください。

要申込

お茶の水女子大学 理系女性教育開発共同機構

E-mail: ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5825 FAX: 03-5978-2650

